



9月12日から3日間に渡って、管内4会場で秋季座談会を開催しました。今回の座談会では、平成29年産米の集荷・販売方針やカントリーエレベーターの利用、平成30年産米の方針などについて協議が行われました。

出席していただいた172名の組合員の皆様から、貴重なご意見・ご要望をいただき、その主な内容についておつなぎいたします。なお、重複している内容については、集約させていただきますので、あらかじめご了承ください。

### 協議事項①

#### 平成30年度用営農資材

##### 予約注文書について

**Q** 畑作で使う牛糞について安価なものを探し、紹介していただきたい。

**A** 畑作に使用する土づくり肥料として牛糞、豚糞、鶏糞等の有機質肥料があります。鶏糞については257円で供給いたしますが、牛糞についても仕入先を検討しながら安価に供給できるように対応いたします。

### 協議事項②

#### 平成30年産米の方針について

**Q** 減反および生産調整が廃止される平成30年は、生産量を増やしても良いのでしょうか。あるいは、今までどおりですか。

**A** 減反、生産調整はなくなりません。今まで国が生産量を配分していたのが、農業者や農業者団体が自ら調整することとなります。そこで、JAとして昨年の出荷契約より早い時期に次年度の転作に係らず出荷予定面積、集荷量を取りまとめ、その総